

株式会社 LIXILグループ

株 主 通 信

2017年3月期ご報告

2016年4月1日～2017年3月31日



Contents

取締役会議長ごあいさつ …… 02	株式メモ・お問い合わせ先 …… 18
社長メッセージ …… 03	アンケート …… 19
LIXILから皆さまへ …… 07	株式の状況 …… 21
営業報告 …… 13	会社概要 …… 22
セグメント情報 …… 14	株主優待のお知らせ …… 裏表紙

LINK TO GOOD LIVING



ごあいさつ



取締役会議長

潮田洋一郎

株主の皆さまには日ごろ応援を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。おかげさまで、2017年3月期は最高益を更新することができました。

当社が指名委員会等設置会社となって6年になります。初めの5年間は藤森社長の経営でした。人口問題で発展の余地が限られた国内市場だけでなく、海外事業展開を通じて大きな成長を目指すことを長期経営戦略として取締役会と共有してきました。その結果、売上高で数%しかなかった海外事業を30%に拡大することができました。このように、取締役会と執行側とは長期ビジョンを共有して、それに鑑みて経営が適切かどうかを取締役会は判断しています。これが当社における監督の考え方です。

一方で中国のグループ会社で発生した不正行為を防げなかった反省から、監査機能を強化しました。海外の社員から直接、東京の本社に事業上の懸念について通報を届けられる「スピークアップ」というシステムをスタートさせ、細部の問

題点の把握にも努めております。また、危機管理では有事の際の対応を世界規模で統一しました。

取締役会のガバナンスがさらに機能するように、その実効性の評価も実施し、そこで出た改善提案を俎上にのせて、議論しました。改善の一環として、執行役兼務の取締役を最少にとどめることに決め、執行役社長の1名だけといたします。

瀬戸社長の細部にわたる経営でさまざまな問題点が摘出され、着実に一つ一つ対処が実施されました。ヨーロッパでは、グローエブランドで開発販売されたシャワートイレが好調なスタートを切りました。アメリカでは、アメリカンスタンダードが勢いを回復し、順調に業績を上げました。

日本国内では、窓事業で世界最高性能の断熱性を持つ商品を発売しました。また、汚れのつきにくい衛生陶器を市場に投入して、トイレ事業も好調に推移しています。

株主の皆さまの変わらぬご支援をお願い申し上げます。



起業家精神に基づく企業文化を 定着させて、さらなる成長を追求します

取締役 代表執行役社長 兼 CEO

瀬戸欣哉

2017年3月期の振り返り

私が昨年1月に(株)LIXILの社長となつてから、約1年半が経ちました。昨年6月に持株会社の(株)LIXILグループでも社長に就任し、「フラットでシンプルな組織の構築」「シナジー効果の最大化」を

優先課題として取り組んできました。

昨年6月には執行役員の役職を廃止し、経営幹部の人数を約半分の53名まで減らしました。また、私は昨年3月からLIXILウォーターテクノロジーのCEOを兼任してきましたが、11月からはLIXILハウジングテクノロジーのCEOも兼任

2017年3月期実績および2018年3月期業績予想 [国際会計基準]

(単位:億円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期				2018年3月期	
		業績予想*2	実績	前期比	予想比	業績予想*3	前期比
売上収益	18,905	17,800	17,864	△5.5%	0.4%	18,500	3.6%
事業利益	701	800	883	26.0%	10.4%	950	7.6%
当期利益*1	△256	380	425	—	11.9%	430	1.2%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益 ※2 2016年10月公表 ※3 2017年5月8日公表

しています。これらは、組織をフラットにし、戦略とその実行、コミュニケーションを迅速化することで管理体制とガバナンスを強化するためです。また、今年1月からは本社部門にマーケティング本部を設け、日本のみならずグローバルの統合体制を構築し、デジタル化への対応の推進・強化を行っています。

国内事業では、新しいリフォームサービス「リクシルPATTOリフォーム」を昨年10月から開始し、登録サービスショップは半年で約7倍の約3,400店に拡大しています。このサービスは、消費者がリフォームに対して不安に思っている、費用・工期・どこに頼んだら良いかわからな

い、という困りごとを解消するサービスです(P09-10ご参照)。このサービスをきっかけに、より多くの方々に、リフォームで生活が快適になることを実感していただくことによって、次のリフォームにつなげ、さらには日本のリフォーム需要の創造につなげていきます。

海外事業では、ここ数年でグループ入りした企業とのシナジー効果の発現が業績に貢献し始めました。例えば北米のアメリカンスタンダード ブランズでは、メキシコ工場に日本の生産技術を入れて、衛生陶器製造の歩留まりが劇的に改善しました。商品面では日本の技術を搭載した、防汚・節水性の優れたトイレ

を発売して高い評価を得ています。これらの結果、同社の売上高の前年同期比はドルベースで9%増となりました。また、グローエでは、初めてのトイレ商品として、同社の洗練されたデザインと日本の技術を融合させた一体型シャワートイレ「センシア アリーナ」を昨年10月に欧州・中東で発売しています。

2017年3月期の業績

売上収益は17,864億円となりました。昨年8月のハイビック(株)・昨年3月の中国ビル事業等の売却や、円高による為替影響、およびLIXILビルディングテク

グループ全体での重点施策—2018年3月期

グループ全体	日本	海外
<ul style="list-style-type: none"> 組織体系の簡素化を継続 起業家精神に基づく企業文化の定着 衛生課題に対する取り組みの強化 新中期経営計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> リフォーム市場における需要の創造・対応 マーケティング活動への積極投資の継続 商品ラインナップの見直し・最適化 働き方改革への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 差別化商品の開発 商品開発プラットフォームの推進 技術者・専門職のグローバル交流の推進 グローバルガバナンス強化

ロジーの選別受注の結果等により5.5%の減収となりましたが、10月に発表した業績予想は超過しました。特にLIXILウォーターテクノロジーにおいて、日本では昨年発売した“100年グリーン”の新しい素材「アクアセラミック」を使ったトイレがヒットしてシェアを伸ばしており、海外ではシナジー効果によって現地通貨ベースで着実に売上を伸ばしました。

事業利益は883億円で、前述のシナジー効果やコストダウン、昨年度の事業売却効果などで収益力が改善し26.0%の増益となり、業績予想の800億円に対し83億円の超過達成となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益は425億円で、前年の赤字からV字回復で黒字化し、過去最高益となりました。バランスシートについては、定常的なキャッシュ・フローの改善、および不採算事業からの撤退や遊休資産の処分等を進め、有利子負債を減らすことによって改善を進めました。その結果、自己資本比率は26.8%となり、前期末比で2.2ポイント増加しました。

2018年3月期 業績予想

売上収益は3.6%増の18,500億円を計画しています。日本では新築住宅着工

が減少すると予想しているため、ほぼ横ばいの計画ですが、海外事業については市場成長およびLIXILウォーターテクノロジーでのシャワートイレや業界初のIoT商品GROHE Sense等の拡販等により、約10%の増収を見込んでいます。

事業利益は7.6%増の950億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は1.2%増の430億円を見込んでいます。

現在、次期中期経営計画(2018年4月スタート)を策定しており、今年後半に発表する予定です。新中期計画が始動する前に、2018年3月期において、今後の収益性を高めるために資産の整理と組織の改善を推進します。そのための

費用を「その他の費用」(日本会計基準の特別損失に相当)に見込んでいることから、当期利益の増益幅が小さくなっています。

配当方針は引き続き「配当性向30%以上」を維持しており、一株当たり配当は中間・期末それぞれ30円、年間60円を予定しています。

2018年3月期の重点施策

P05上の表に「グループ全体での重点施策」を掲載しています。

「組織体系の簡素化を継続」については、私の就任以来の課題であり、引き続き取り組んでいきます。

次に「起業家精神に基づく企業文化の定着」を挙げています。世の中は常にめまぐるしく変化し続け、他産業からの参入などにより競争がさらに激化するなか、私たちが勝ち抜き生き残っていくためには、「起業家精神を大切にするボトムアップの文化」を構築することが不可欠です。オープンなコミュニケーションによって、新しい意見、アイデアが生まれ、10年、20年先も成長し続けることができる、そんな企業になるための原動力となるものです。

「衛生課題に対する取り組みの強化」について、その活動のひとつとして、4月より「みんなにトイレをプロジェクト」という、途上国に対して簡易トイレを寄付する取り組みを行っています(P12ご参照)。

日本の重点施策では「働き方改革への対応」があります。効率的に仕事を進めて残業を削減するのはもちろんのことです。私の究極の目標は、従業員が自らの仕事にやりがいを持ち、会社に対して誇りを持てる環境を作り出すということです。至ってシンプルなことです。従業員が仕事にやりがいを感じ、思いやりと敬意、信頼関係に支えられた企業文化を作り上げていくことによって、組織としての競争力が高まり、お客さま、そして社会全体に対して、新たな価値を提供できると考えています。

事業面では、日本では今後、人口減少が見込まれ、新築住宅着工も減っていくことが予想されます。そこで、リフォーム需要拡大のために「リクシルPATTOリフォーム」の拡充をしていきます。また、工事業者さまの数そのものが減っていることがリフォーム需要拡大のボトルネックになっているため、メーカーとして、省施工・短納期で工事ができる商品の開発を行っています。さらに、

当社製品およびリフォームの良さを伝えるため、引き続きマーケティング活動にも注力していきます。

LIXILは2011年に国内の主要住設建材メーカー5社が統合してできた会社のため、統合後に商品ラインナップの数を減らしてきたとはいえ、まだまだ見直しを行う余地があります。国内外共通の課題ですが、商品開発プラットフォームの推進により、似た商品は内部構造や部品を共通化することによって、商品数・部品点数の削減や生産効率の向上につなげることができます。また、デジタル技術を用いた新しい製品・サービスの開発を行っています。

海外では引き続き、シナジー効果の発現に努めます。そのために、例えば技術者・専門職のグローバル交流を推進し、日本の優れた技術と現地に合ったデザインの製品開発をさらに進めます。

株主の皆さまには、当社グループへの温かいご支援のほど、引き続き宜しくお願い申し上げます。



リフォームにぴったりの 新商品が出そろいました

窓リフォーム

「リフレム リプラス」

「リプラス」は「すっきりとしたデザイン」「断熱性と耐久性に優れた高性能ハイブリッド窓」「簡単リフォーム」が特長の新カバー工法を採用した木造戸建て住宅向け窓リフォーム商品です。新構造のリフォーム専用枠と高性能ハイブリッド窓の採用により、デザイン性、採光性、眺望性を損ねることなく、断熱性を向上させ、居住者の住まいの悩みを解決します。また、耐久性や強度に優れたハイブリッド窓なので長い間安心してお使いいただけます。



使い勝手を追求した 「Wサポートシンク」

LIXILは、シンク内に設けた2段のレーンと付属のプレート、水切りカゴの組み合わせで、調理と後片付けの作業を効率よく行える「Wサポートシンク」を開発し、システムキッチン「リシェルS1」と「アレスタ」に3月から搭載しています。「Wサポートシンク」は、キッチンで行う作業のうち約35%*を占める、「調理中の水切り」「後片付けでの水切り」など、水を使う作業を効率よく行えるよう開発されたシンクです。

*当社条件に基づく分析結果



VINTIA
ヴィンティア

インテリア建材

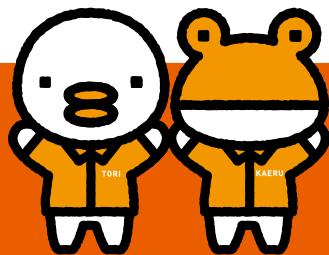
「VINTIA (ヴィンティア)」

「ヴィンティア」は、ヴィンテージのリアルな風合いを高い品質で表現し、機能性にも優れた、誰にでもインダストリアルの世界観を楽しむことができるインテリア建材の新シリーズです。カラーはヴィンテージ家具や小物の深い色合いに合わせやすい5色（「ネイビーブルー」「ボトルグリーン」「チャコールブラック」「チーク」「ナチュラルオーク」）を設定し、デザイン細部もレトロな風合いにこだわっています。

02

「リクシルPATTOリフォーム」 対象商品ぞくぞく登場

2016年10月にスタートした“お客さまの困りごと”を「簡単・早い・明朗」で解決する、新しいリフォームサービス「リクシルPATTO（パット）リフォーム」の対象商品を、当初の2商品から大幅に拡充し、16商品となりました。（6月現在）



簡単・早い・明朗

リクシル PATTO リフォーム

1



問い合わせが簡単

お近くの
サービスショップを
ご紹介します。

2



見積りが明朗

現地調査にもとづいた、
商品代と工事費が入った、
わかりやすい見積りを
ご提示します。

3



工事が早い

“リクシルPATTOリフォーム”
対象商品なら、1日で
リフォーム工事が完了。

<p>扉 工事 1日～</p>  <p>おうちの顔もステキに新しく! 約38～58万円</p>	<p>屋外用手すり 工事 1日～</p>  <p>簡単な工事の後から取付け。ご高齢の方も安心の玄関に。 約6～11万円</p>	<p>窓 工事 1時間～</p>  <p>エアコン効率アップ&結露軽減! 内窓……約5～12万円 取替窓…約11～23万円</p>	<p>日よけ 工事 30分～</p>  <p>室内に日差しを入れずにグッと冷房効率アップ! 約3～12万円</p>
<p>キッチン 工事 1日～</p>  <p>機能を絞ったシンプルキッチン! サイズも豊富。 約17～32万円</p>	<p>キッチンコンロ 工事 1時間～</p>  <p>ガスでもIHでも、最新機能で使いやすい! 約11～25万円</p>	<p>キッチン用水栓 工事 1時間～</p>  <p>レバー操作でラクラク。浄水器内蔵タイプもご用意。 約3～7万円</p>	<p>浴室用水栓 工事 1時間～</p>  <p>最新のプッシュ式で使いやすい。節水でエコなのうれしい。 約5～9万円</p>
<p>洗面化粧台 工事 半日～</p>  <p>簡単お手入れで便利。収納たっぷり使いやすい。 約9～23万円</p>	<p>トイレ 工事 半日～</p>  <p>収納付で空間がスッキリ。お手入れもぐっとラクに。 約20～32万円</p>	<p>便座 工事 30分～</p>  <p>シャワートイレに暖房機能がついて快適に。 約6～14万円</p>	<p>壁材・エコカラット 工事 2時間～</p>  <p>独自の機能で空気をキレイに。インテリア性もアップ! 約4～6万円</p>

お問い合わせ

0120-810-864

受付時間 9:00～18:00
(年末年始・夏季休業日を除く)

<http://www.lixil.co.jp/reform/patto/>

その他対象商品
(2017年6月現在)

玄関網戸

玄関収納

窓面格子

レンジフード

(注) 工事の価格は参考価格、時間は目安となります。現場の状況によって異なる場合があります。

LIXILとGROHEの商品が 世界のデザイン賞で評価されています

iF DESIGN AWARD 2017



LIXILはグローエとともに、住まいに調和するデザインを実現した10商品で、世界3大デザイン賞のひとつである「iF DESIGN AWARD 2017」を受賞しました。LIXILからは木目の抑揚や木肌感、ペンキで仕上げたような風合いを表現したインテリア建材「ファミリーライン パレット」(写真)など5商品、グローエからはヨーロッパの洗練されたデザインと日本の最新技術を融合したトイレ「センシア アリーナ」など5商品が受賞商品となっています。



レッドドット・ デザイン賞2017



reddot award 2017
winner

LIXILおよびグローエの水まわり商品計6点が国際的なデザイン賞のひとつである「レッドドット・デザイン賞2017」を受賞しました。LIXILからは、日本の豊かな風呂文化より発想を得た肩湯システム「アクアフィール」*1、グローエからは、簡単な切り替えで、浄水や冷水、炭酸水を楽しむことができる家庭用ウォーターシステム「GROHE Blue Home」(写真)*2を含む水栓金具や、トイレなど計5商品がそれぞれ選出されました。

*1 システムバスルーム「スパージュ」搭載のアイテム。日本のみ発売。
*2 日本未発売。



安全で衛生的なトイレを
利用できない世界の人々

24 億人

「みんなにトイレをプロジェクト」 始動しました

LIXILでは、お客さまがLIXILの一体型シャワートイレ1台ご購入につき、新興国向けの簡易式トイレ「SATO(Safe Toilet/安全なトイレ)」1台をアジア、アフリカの国々に寄付する「世界の衛生環境を改善しよう! みんなにトイレをプロジェクト」をスタートしました。このプロジェクトでは、国連機関や国際NGOと連携し、劣悪な衛生環境の地域に、適切なトイレ習慣を普及させることを目指しています。目標はアジアやアフリカへおよそ20万台の簡易式トイレ「SATO」を寄付し、約100万人の衛生課題を改善することです。協力団体と連携して寄付することで、設置先の選定や施工、トイレの利用を定着させるための啓発活動を実施します。また、日本において世界の衛生課題への理解を広めることも目的としています。



世界の衛生環境を改善しよう!
みんなにトイレを
プロジェクト

プロジェクトへの参加方法

LIXILの一体型シャワートイレをお客さまが1台ご購入につき、アジアやアフリカの国々へ簡易式トイレ「SATO」をLIXILから1台寄付します。

対象商品：一体型シャワートイレすべて
期間：2017年4月～9月
<http://www.lixil.co.jp/minnanitoirewopj/>

営業報告

主な経営指数の推移〈連結、IFRS〉

	当期 自2016年4月 1日 至2017年3月31日	前期 自2015年4月 1日 至2016年3月31日	前期比 比率(%) / 差額
売上収益(百万円)	1,786,447	1,890,450	△5.5
事業利益*(百万円)	88,312	70,069	26.0
営業利益(百万円)	67,535	39,011	73.1
親会社の所有者に帰属する当期利益又は損失(百万円)	42,503	△25,605	—
資本合計(百万円)	559,431	537,308	4.1
資産合計(百万円)	2,042,165	2,130,120	△4.1
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	132,531	121,085	
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△58,052	19,122	
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△79,899	△154,403	
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	121,563	129,646	△6.2
親会社所有者帰属持分比率(%)	26.8	24.6	2.2
親会社所有者帰属持分当期利益率[ROE](%)	7.9	△4.6	12.5
基本的1株当たり当期利益又は損失[EPS](円)	148.01	△89.33	237.3
1株当たり親会社所有者帰属持分[BPS](円)	1,902.18	1,828.84	73.3
1株当たり年間配当金(円)	60	60	0

*日本会計基準における「営業利益」と同等、事業利益=売上収益-売上原価-販管費



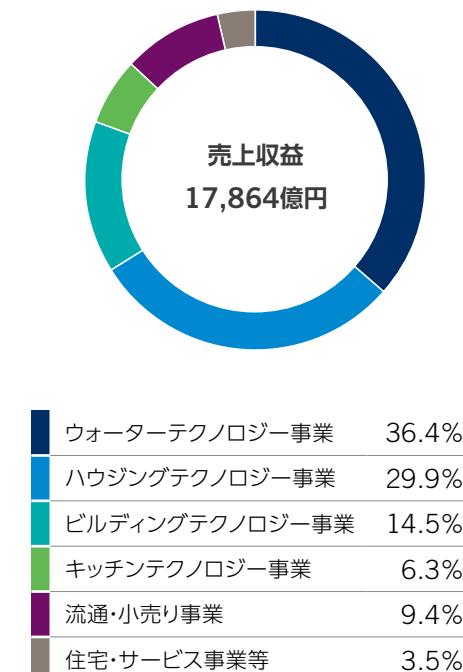
(注)P13、P15~17掲載の業績予想は2017年5月8日公表

セグメント情報

セグメント別の営業状況

	当期 (億円)	前期 (億円)	前期比 (%)
売上収益	17,864	18,905	△5.5
ウォーターテクノロジー事業	6,624	6,733	△1.6
ハウジングテクノロジー事業	5,441	5,661	△3.9
ビルディングテクノロジー事業	2,636	3,320	△20.6
キッチンテクノロジー事業	1,147	1,121	2.4
流通・小売り事業	1,720	1,845	△6.8
住宅・サービス事業等	644	595	8.2
(調整額)	△348	△369	—
事業利益	883	701	26.0
ウォーターテクノロジー事業	651	549	18.6
ハウジングテクノロジー事業	392	380	3.2
ビルディングテクノロジー事業	38	△56	黒字化
キッチンテクノロジー事業	43	18	146.6
流通・小売り事業	73	72	1.8
住宅・サービス事業等	44	38	16.8
(調整額・のれん償却・取得原価)	△359	△299	—

売上収益内訳(当期)



国際会計基準(IFRS)の適用について

当社は2016年3月期から国際会計基準(IFRS)により連結財務諸表を作成しています。本誌ではIFRSベースにてご報告します。

セグメント情報

ウォーターテクノロジー事業



新素材「アクアセラミック」を採用したシャワートイレ一体型便器「サティス」「プレアス」などの拡販に努めたほか、海外市場の伸長とグローエブランド初の衛生陶器「センシア アリーナ」(写真: 床置きタイプ)の市場導入があったものの、為替換算影響などにより売上収益は1.6%の減収でした。事業利益はグループ横断的なシナジーの効果によるコストダウンや商品ミックスの良化などによる粗利率改善により、18.6%の増益となりました。

売上収益・事業利益の推移

(単位: 億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



ハウジングテクノロジー事業

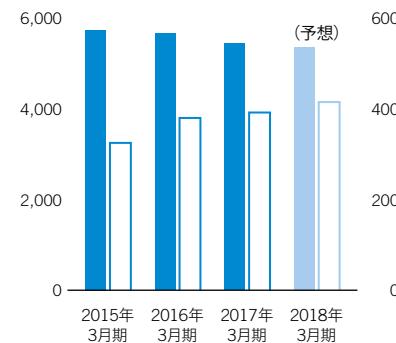


アルミの良さと樹脂の良さを融合させ、高い断熱性能を実現した高性能ハイブリッド窓「サーモスL」(写真)などの拡販に努めたものの、需要構造の変化に加え、木材プレカット製品の製造販売等を行うハイビック(株)を売却したこともあり、売上収益は3.9%の減収となりました。事業利益は、さらなるコストダウンによる粗利率改善や販管費の減少などにより3.2%の増益となりました。

売上収益・事業利益の推移

(単位: 億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



ビルディングテクノロジー事業

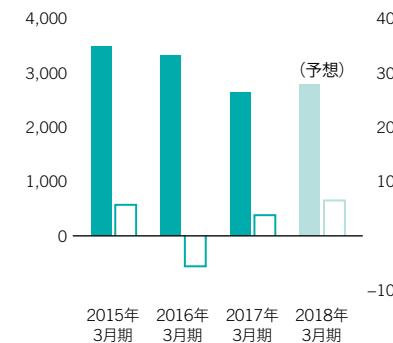


海外事業においては、ペルマスティリーザ社の近年の選別受注徹底や為替換算影響に加え、上海美特カーテンウォール社を前期末に売却したこと、日本事業では物件完工端境期であったことなどから、当事業合計の売上収益は大きく減収となりました。一方で、選別受注による粗利率改善やコストダウンなどにより事業利益は黒字に転じました。

売上収益・事業利益の推移

(単位: 億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



キッチンテクノロジー事業



国内では、熱・キズ・汚れに強いセラミックトップを採用した中高級のシステムキッチン「リシェルS1」(写真)が好評で、CM投入などによる拡販施策もあり、売上を伸ばしました。中国でのハイアールとの合弁事業も、中国元に対して円高が進んだにもかかわらず円ベースで増収となり、合計の当部門の売上収益は2.4%の増収となりました。事業利益は、中高級品の売上増とコストダウンにより前年比2.5倍となりました。

売上収益・事業利益の推移

(単位: 億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



セグメント情報

流通・小売り事業



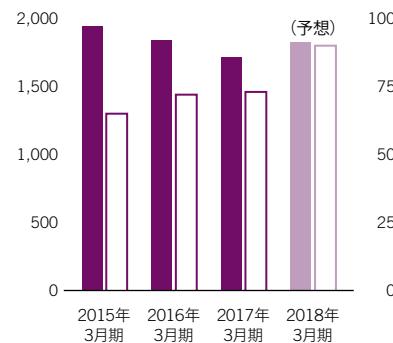
ビバホーム
LIXIL VIVA

新規出店はスーパービバホーム西川越店(写真)等3店、一方、賃貸契約終了で1店を閉鎖し、3月末の店舗数は88店となりました。売上収益は2015年10月に建デポ事業を分社化した影響で6.8%の減収となったものの、事業利益は粗利益の増加から1.8%の増益となりました。なお、(株)LIXILビバは今年4月に東京証券取引所市場第一部に上場しました。引き続き当社の連結子会社として流通・小売り事業を担います。

売上収益・事業利益の推移

(単位: 億円)

■ 売上収益(左軸)
□ 事業利益(右軸)



住宅・サービス事業等

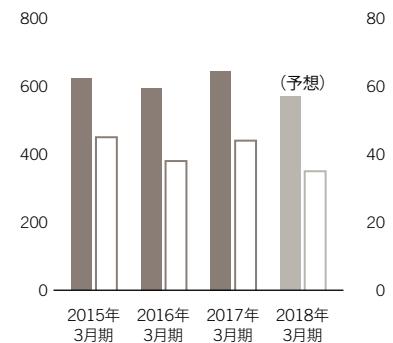


(株)LIXIL住宅研究所のアイフルホームがZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)対応住宅「セシボ」(写真)をはじめとする高気密・高断熱の新築住宅および新築再生リフォーム「新築mitai(みたい)」の拡販や、ジャパンホームシールド(株)の地盤調査の受注の増加等から、売上収益は8.2%の増収、事業利益は16.8%の増益となりました。(注)日本住宅保証検査機構が2017年3月期末より非連結化し、2018年3月期予想は減収減益となっています。

売上収益・事業利益の推移

(単位: 億円)

■ 売上収益(左軸)
□ 事業利益(右軸)



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定日	定時株主総会議決権行使株主・期末配当金受領株主 3月31日、 中間配当金受領株主 9月30日 上記のほか必要ある場合は予め公告して基準日を設定。
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL: http://www.lixil.com/jp/investor/electronic_public/
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711(通話料無料)
同連絡先	
1単元の株式の数	100株
上場取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所

お知らせ

- 株主さまの住所変更、買取請求、買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行、電話0120-232-711(通話料無料))にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の株主さまと同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主さま宛にも「配当金計算書」を送付いたしております。「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受け取り(株式数比例配分方式)の株主さまは、お取引のある証券会社でご確認ください。

お問い合わせ先

株式についてのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行：証券代行部 0120-232-711(上記「株主メモ」ご参照)

LIXILグループ：03-3638-9300

本誌の内容についてのお問い合わせ

LIXILグループ：IR室 03-6268-8806

株式会社LIXILの商品に関するお問い合わせ

お客さま相談センターのフリーダイヤルで承ります。商品により電話番号が異なりますのでご注意ください。
受付時間 平日 9:00~18:00、土日祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

- サッシ、ドア、エクステリア ☎0120-126-001
- トイレ、化粧台、浴室商品、タイル商品 ☎0120-179-400
- キッチン商品 ☎0120-190-521

アンケートにご協力ください

株主通信を手にとっていただきありがとうございます。株主の皆さまのご意見を今後の活動の参考とさせていただきます。同封のハガキに必要事項と、下記およびハガキに記載の設問に対する回答をご記入の上、2017年7月24日(月)までにご投函ください(当日消印有効)。ご回答くださった方には、LIXILの2018年版カレンダー(卓上またはタイルカレンダー、どちらかひとつ)を進呈いたします。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

アンケートご回答の方に
カレンダーをプレゼント!



※カレンダーの写真は2018年版です。卓上カレンダーはデザインが変わります。



上：タイルカレンダー(壁掛けタイプ、紙製) 約39.5×39.5(cm)
下：卓上カレンダー(両面タイプ、紙製) 約15×18(cm)

- Q1** 当社株式を取得されたきっかけをお聞かせください。(2つ)
1. 会社四季報・日経会社情報
 2. 新聞・投資情報誌等
 3. 証券会社の推奨・分析ツール
 4. 個人投資家説明会
 5. 当社CM・広告
 6. 当社ホームページ
 7. 当社ホームページを除くインターネット情報
 8. 株主優待制度・株主優待情報誌
 9. 知人・友人・家族の紹介
 10. 当社製品を利用
 11. 当社のファン
 12. 当社従業員(元従業員)
 13. 当社お取引先(元取引先)さま
 14. 相続・贈与
 15. その他 [内容を回答欄にご記入ください]

- Q2** 当社株式を購入する際、最も重視されたことは何でしょうか。(1つ)
1. 将来性・成長性(値上がり益期待)
 2. 業績の安定性
 3. 財務体質・健全性
 4. 株主還元
 5. 配当利回り
 6. 株主優待制度
 7. 株価の割安感
 8. 経営者
 9. 当社のファン
 10. 経営戦略・事業内容
 11. 知名度・ブランド
 12. 当社関係者・取引先等
 13. その他 [内容を回答欄にご記入ください]

同封の「株主さまアンケート回答用ハガキ」の両面に必要事項をご記入の上、7月24日(月)までにご投函ください(当日消印有効)。

- Q3** 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。(1つ)
また、買い増しのご意向がある株主さまは、数字の記入に加え、ハガキ回答欄右にある「買い増し意向」にもをご記入ください。
1. 1年未満
 2. 短期(1年～3年未満)
 3. 中期(3年～5年未満)
 4. 長期(5年以上)
 5. 売却しない
 6. 売却済み(一部売却を含む)

- Q4** 今回の株主通信の全体の印象(サイズ、ページ数、文字の大きさなど)についてお聞かせください。
1. 良い
 2. どちらかといえば良い
 3. どちらかといえば悪い
 4. 悪い

- Q5** 当社の株主優待制度の評価をお聞かせください。(株主優待制度は裏表紙をご参照)
1. 良い
 2. どちらかといえば良い
 3. どちらかといえば悪い
 4. 悪い
 5. 株主優待を受け取っていないので評価できない

- Q6** 下記の中でお越しいただいたことがあるものをご回答ください。(いくつでも)
1. LIXILショールーム
 2. リクシルPATTOリフォームのサービスショップ
 3. LIXILリフォームショップ・LIXILリフォームネットの登録店
 4. (株)LIXILビバのホームセンター(スーパービバホーム・ビバホーム)
 5. (株)LIXIL住宅研究所が運営する住宅フランチャイズのモデルハウス(アイフルホーム・フィアスホーム・GLホーム)
 6. (株)LIXILグループ 株主総会
 7. (株)LIXILグループ 個人投資家説明会(不定期に開催)

- Q7** 当社へのご意見・ご感想などがございましたらご自由にご記入ください。

→ 応募方法

同封の「株主さまアンケート回答用ハガキ」に回答をご記入の上、「個人情報保護シール」を所定の位置に貼付してご投函ください。カレンダーの発送は12月中旬を予定しております。

※集計の都合上、個別のお返事はできませんので、ご了承ください。個別のご対応が必要な事項については、P18「お問い合わせ先」までご連絡ください。

株式の状況(2017年3月31日現在)

株式数および株主数

発行可能株式総数	1,300,000,000 株
発行済株式の総数(自己株式25,315,762株を除く)	287,738,493 株
株主の総数	42,844 名

大株主

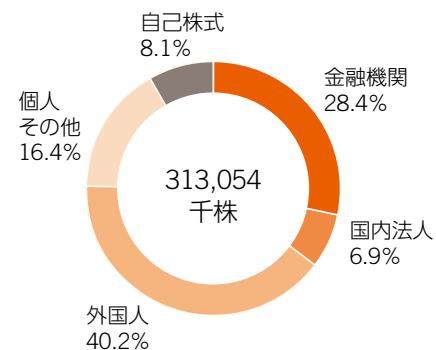
株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	10,179*	3.54%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	9,840*	3.42%
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04 (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	9,779	3.40%
野村信託銀行(株)信託口	8,896*	3.09%
LIXIL従業員持株会	6,789	2.36%
第一生命保険(株) (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	6,561	2.28%
(株)三菱東京UFJ銀行	5,798	2.02%
MSCO CUSTOMER SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレーMUFJ証券(株))	5,554	1.93%
(株)三井住友銀行	5,543	1.93%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口5	5,356*	1.86%

(注) 1. 上記の他に当社は自己株式 25,315千株を所有しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

2. ※はすべて信託業務に係るものです。

3. 野村信託銀行(株)信託口8,896千株は潮田洋一郎氏が委託した信託財産であり、信託契約上、議決権の行使については同氏が指図権を留保しています。

所有者別分布状況



金融機関	88,813千株
国内法人	21,530千株
外国人	125,936千株
個人その他	51,457千株
自己株式	25,315千株
合計	313,054千株

会社概要

会社概要

(2017年3月31日現在)

社名	株式会社 LIXILグループ
英文社名	LIXIL Group Corporation
設立年月日	1949年(昭和24年)9月19日
本店	〒136-8535 東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所	〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
資本金	68,121百万円
決算期	3月31日
従業員数	54名(連結従業員数 59,248名)
主な事業内容	国内外の住生活関連事業・都市環境関連事業を営む会社の株式または持分を取得、所有することによる当該会社の事業活動の支配、管理を行っております。

執行役

(2017年6月22日現在)

代表執行役社長兼CEO	瀬戸 欣哉
代表執行役副社長	川本 隆一
執行役副社長	松本 佐千夫
執行役副社長	白井 春雄
執行役副社長	大坪 一彦
執行役専務	ローレンス・ウィリアム・ベイツ
執行役専務	ファ・ジン・ソン・モンテサーノ
執行役専務	松村 はるみ
執行役専務	二瓶 亮
執行役専務	金澤 祐悟

取締役

(2017年6月22日現在)

取締役	潮田 洋一郎
取締役	瀬戸 欣哉
取締役	金森 良純
取締役	菊地 義信
取締役	伊奈 啓一郎
社外取締役	川口 勉
社外取締役	幸田 真音
社外取締役	パーバラ・ジャッジ
社外取締役	山梨 広一
社外取締役	吉村 博人

委員会構成

(2017年6月22日現在)

<指名委員会>	委員長	山梨 広一
	委員	潮田 洋一郎
	委員	吉村 博人
<報酬委員会>	委員長	パーバラ・ジャッジ
	委員	幸田 真音
	委員	山梨 広一
	委員	菊地 義信
	委員	伊奈 啓一郎
<監査委員会>	委員長	川口 勉
	委員	金森 良純
	委員	吉村 博人

主なグループ会社・事業

(2017年3月31日現在)

(株)LIXILグループ(持株会社)
(株)LIXIL
LIXILウォーターテクノロジー
(株)JAXSON グローエグループS.a.r.l. アメリカンスタンダード ブランズ A-S チャイナ プラミング プロダクツLtd.
LIXILハウジングテクノロジー
(株)川島織物セルコン 旭トステム外装(株)
LIXILビルディングテクノロジー
ペルマスティリーザS.p.A.
LIXILキッチンテクノロジー
LIXILハイアール住建設施(青島)有限公司
LIXILジャパンカンパニー
(株)LIXILトータルサービス (株)LIXIL鈴木シャッター
流通・小売り事業
(株)LIXILピバ
住宅・サービス事業等
(株)LIXIL住生活ソリューション (株)LIXIL住宅研究所 アイフルホームカンパニー フィアスホームカンパニー ジューエルホームカンパニー ジャパンホームシールド(株) (株)LIXILリアルティ (株)LIXILイーアールエージャパン (株)LIXIL シニアライフカンパニー

免責事項

この株主通信には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績はさまざまな重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

株主優待のお知らせ

株主優待のお申し込み期限は、
2017年10月31日(火)となっています。

株主の皆さまのご支援、ご愛顧に感謝するとともに、より多くの株主の皆さまに事業に対するご理解を一層深めていただくことを目的として、株主優待を実施しています。

2016年9月30日現在の当社の株主名簿に記載または記録されている100株(1単元)以上を保有されている株主さまへ、昨年11月末に「株主優待制度ご利用ガイド2016-17」と「リフォーム株主優待申込書」をお送りしています。皆さまの株主優待のご利用をお待ちしています。

▶ リフォーム株主優待

対象LIXIL商品を使って工事が完了し、10月末までに請求書が発行されたリフォーム工事が対象です。

10月31日(当日消印有効)までに必要書類とともに「リフォーム株主優待申込書」を投函してください。

工事金額に応じて3万円・5万円・10万円のいずれかの金額の商品券を、お申し込みの約2カ月後にお送りします。

▶ 生活サービス株主優待

10月31日までに「くらしテルコールセンター」にお電話でお申し込みください。サービス実施は2017年12月31日(日)までとさせていただきます。

サービス内容

当社の関連会社(株)くらしテルが提供するハウスクリーニング等のメニューのうちいずれか1種類について、ご利用価格に応じ税込価格から5,000円または3,000円の割引をします。割引券は「株主優待制度ご利用ガイド2016-17」の巻末にあります。

リフォーム株主優待「対象LIXIL商品」追加のお知らせ



■ 浴室
「リノビオフィット」



■ 窓リフォーム
「リフレム(リプラス・II・IIカバーモールド浴室用)」(2窓以上)



■ 窓まわり
「スタイルシェード」(4本以上)

株式会社 LIXILグループ

本店 : 東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所 : 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
ホームページ : <http://www.lixil.com/jp/>

表紙、P01、P07-08、P10、P11左、P15右、P16右、裏表紙の製品および施工例写真は(株)LIXILの著作物です。